

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

去年は、当事業団に多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

さて、今年、卯年。この年は、大きく成長する年、新しいことに挑戦するのに適した年ともいわれています。事業団では、「ワークサポート杉並・事業推進プラン」を策定し、計画的に事業を展開しておりますが、今年はその事業推進プランの改定という大変重要な課題がございます。利用者の方々が未来に向かって、大きく飛躍できるよう、今後も地域の皆さまのご支援を賜りながら、お一人おひとりのニーズに的確にこたえてまいりたいと考えております。

結びに、本年が皆さまにとりまして、うさぎのようにピョンと跳ね上がる良い一年になりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

常務理事 鈴木 雄一

知的障害の方の交流会を開催しました

ワークサポート杉並の定着支援を受けながら就労している知的障害の方が集う、今年度第2回目の交流会を令和4年11月27日（日）にワークサポート杉並の会議室で開催しました。

第1回（同年5月）に続き、午前、昼、夕方の3部制としたところ、当日は52名の方が参加してくださいました。今回もコロナウイルス感染予防として、部屋の換気や入館時の検温、体調確認、手指消毒等を徹底しました。

当日は自己紹介の後、音楽に合わせたハンドクラップでウォーミングアップをして気持ちも体もほぐれたところで、新ゲームの「玉入れ（写真のとおり）」を行いました。参加者は新聞紙を丸めた玉を椅子に座った姿勢で投げて、中央でかごを掲げる係も参加者からの希望者が担当してくださいました。チーム対抗で競いましたが、1つ違いで勝ったり負けたり、笑顔やいきいきとした表情がたくさん見られました。



最後は恒例のビンゴ大会。今回はクリスマスにちなんでビンゴを行い、皆さんお気に入りの景品を手にとり、別れを惜しみつつの解散となりました。

参加者からは「玉入れの対抗戦で負けたのが悔しいのでまたリベンジしたい」「プログラムはどれも楽しい」「久しぶりにみんなに会えてよかった」「初めて参加したが楽しかった。また参加したい」等々の声が聞かれました。来年度も感染予防に注意しながら楽しい交流会を開催していきたいと思っております。

杉並区障害者雇用支援センター 令和5年の取り組みについて

新年おめでとうございます。

旧年中は、当センターの運営に多大なるご支援、ご協力をいただきましたこと厚く御礼申し上げますとともに、本年もよろしくお願いいたします。

令和4年を振り返りますと、当センターからの就職者は令和3年より増加傾向にあり新型コロナウイルスの影響が続く中、企業の採用は進んでいるとの印象を持ちました。

また、令和4年の新規利用者の傾向は、大半が就職経験を有する方で、センターとしては前職の情報（仕事内容や人間関係等）を集め、センターとしての再アセスメントを行い、企業就労に繋げています。再アセスメントについては、センター内だけではなく関連機関での実習や東京しごと財団の委託訓練を活用してもらい、社会経験を積みながら仕事の適性、環境対応の把握に努めています。その他外部講師の協力をいただき、利用者状況に合わせた座学時間の設定も行い、就労準備への理解が深まるよう取り組んでいます。

本年は連携先の拡充を図り、利用者がより実習に参加できる機会を設けながら、より多くの方にセンターをご利用いただけるプログラムも実施します。

現在、福祉サービスに繋がっていない方で、将来的には就労を希望している方には、当センターの「生活スキル向上プログラム（独自プログラム）」を紹介し、訓練プログラムについても、メンタル面に障害を持っている方には、その日の体調確認等の面談時間を設け、利用者状況をみながら時間の使い方を考えていきます。昨年末に実施したところ、利用者より好評をいただいております。

今後、短時間からの（週10時間以上）雇用率の算定予定など、就労環境も変わってきますので、短時間就労の職場開拓など、変化に対応しながらより良いサービスの提供に努めて参ります。

杉並区障害者自立生活者表彰 おめでとうございます！

令和4年12月4日（日）、勤労福祉会館・西荻地域区民センターで杉並区障害者自立生活者・自立支援功労者の表彰式典が行われ、ワークサポート杉並の利用登録者である木村晃子さんが、障害者自立生活者として表彰されました。

木村さんは、特別支援学校を卒業後、特例子会社に入社。以降16年間、安定して勤務を継続しています。生活面では、将来の生活を考え、令和2年よりグループホームに入居して自立に取り組んでいます。また、幼少期より趣味としている絵画では、仲間と定期的に個展を開催するなど、公私ともに充実した自立生活を送られていることが認められ、今回の表彰となりました。木村さんは表彰を受けたことをとても喜ばれており、表彰式後「周りの皆様に感謝の気持ちを忘れずに、これからも身体に無理せず、前向きな笑顔で元気に頑張りたいと思います」とお話しされていました。今回の表彰が、木村さんの自立心の向上となって、地域でもさらに活躍されることを期待しています。



就職しました（9・10・11月）

一般事務	2名	清掃業務	2名
その他	3名		

理事長・副理事長が交代しました

理事長	渡辺 幸一	（10月31日付）
副理事長	杉原 千鶴子	（9月 2日付）

写真については、ご本人の了解を得て掲載しています。